

平成 28 年 2 月 22 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 熊谷高校・作道将平

2. 講師氏名: Thierry N. FOUQUET 博士

3. 同行者氏名: 佐藤 浩昭 先生

4. 実施日時: 平成 28 年 2 月 15 日 (月) 15:25~16:15

5. 参加生徒: 1 年生 24 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 人)  
備考: (例: 理数科の生徒) 総合的な学習の時間, 化学課題研究選択者

6. 講演題目: (英文) The “whys and wherefores” of being a scientist

(和文)

7. 講演概要:

- ・科学者になった理由, 論文について
- ・どのようにして科学者になったか, フランスの教育システム, ポスドク時代
- ・質量分析法について, 仕組み, どのなとこに使われているか
- ・研究者になるためのヒント, 人とのつながり, 英語, 自信を持って人前で話すこと

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

(1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 5 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演 実験無

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者による日本語での補足説明

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

研究の要旨とキーワードリスト

10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金

11. その他特筆すべき事項: 特になし